

2015年2月12日(木)

先日見学させて頂きました、昭和薬科大学の外間健吾です。
お忙しいところ、様々な現場に同行させていただき、ありがとうございました。

今後、病院の病床数が足りなくなり、在宅医療の需要がますます高まっていくと考えています。薬剤師の在宅は見学したことがあったのですが、他の医療チームの方々はどのように在宅医療に関わっているのか、非常に興味がありました。

自宅に訪問させていただき、もっとも衝撃を受けたことは、医師と患者という立場を忘れる程の距離感の近さを感じたことです。また、ここでは、薬剤師も共に同行することがあり、薬に関する服薬情報の収集をおこなっていました。

これらはすべて、信頼関係の構築が前提だと思います。そのためには先ず、知識をしっかり固め、頼られる薬剤師にならなければならないと感じました。今回の実習を通して、在宅医療に対して、より興味を持つことができました。